

第1回「おうちde俳句大賞」優秀賞三十選

◆リビング 優秀賞

リモコンの位置が変わってゐて蜜柑  
七階は雪の行方がわかる場所  
秋風が居間の手紙を読めという  
○居間に咲く牡丹のような母がいる  
藤寝椅子教師になりたかった父

山本卓登  
上農多慶美  
村井康典  
江戸川散歩  
猫愛すクリーム

◆台所 優秀賞

○もがりぶえひょうはくざいのおいかな  
ブロッコリーゆであがる刹那熱唱  
ぶった切るキャベツの破片窓につく  
ばばのたくめしはやはらかはるうれひ  
缶詰に賞味期限や鵲の費

水野結雅  
江口小春  
豊田すばる  
あねご  
森田欣也

◆寝室 優秀賞

天ノ川二段ベッドニ集合セヨ  
◎さへづりは礫寝返りの瞼に  
まばたきで礼せし妻の毛布替え  
春寒や死にきれぬほど散らかりぬ  
寝たきりの命の匂い梅雨明けぬ

ワンダフルもずく  
佐藤儒良  
水田千種  
こま  
あや

◆玄関 優秀賞

ドアチェーンかけて夜長を城とする  
なのかかんかまきりあまやどりぼくのあさがお  
吹雪く日のセールスマンを入れにけり  
玄関に夫の金槌日永かな  
○夕虹や我が子を比べぬと誓う

関口徹夫  
ましまのぶと  
大谷正太  
葵そら  
荒谷恵友美

◆風呂 優秀賞

湯船から白鳥座見え子が嫁ぐ  
爪立ててもつと柚子湯にしてあげる  
夕顔や風呂に綺麗な声が住む  
○老いぼれの裸身の曇る鏡かな  
涼しさや風呂場に母の髪を切る

三郎  
松田夜市  
あいむ李景  
冬のおこじよ  
紗千子

◆トイレ 優秀賞

月白の便器は泉花の冷  
○無月なりトイレに鍵をする独居  
血便の薔薇の花めく寒の入  
風邪の夜や雲踏むやうに行くトイレ  
花びらの触れて勝手に開く便器

蟻馬次朗  
ふるてい  
にゃん  
小野更紗  
大塚迷路

○印は、各部門の最優秀賞  
◎印は、大賞 受賞作です。